

佐久市公民館運営審議会委員

佐久市公民館運営審議会 会議次第

日 時 令和4年9月22日(木)
午後4時~
場 所 佐久市役所南棟 3階会議室

1 開 会

2 井出会長あいさつ

3 教育長あいさつ

4 自己紹介

5 佐久市公民館運営審議会について (資料1)

6 会議事項

- (1) 佐久市教育振興基本計画(案)について
・公民館における現状と課題【アンケートや公運審意見から】(資料2)

- ・公民館が目指すもの【佐久市公民館の願い】(資料2)

- ・佐久市教育振興基本計画骨子案(資料3)

- ・教育振興基本計画案における社会教育部関係施策一覧表(資料3)

- (2) 令和3年度の公民館事業報告等について (資料4)

- (3) 令和4年度の公民館事業について (資料5)

7 閉 会

(任期: 令和3年10月1日~令和5年9月30日)

氏名	住所	性別	所属等	備考
黒沢 知博	佐久市塚原808	男	学校教育関係者 (佐久市立中佐都小学校長)	
窪田 光男	佐久市協和2328-11	男	社会教育関係者 (佐久市地域公民館連絡協議会 会長)	(新任)
小泉 勉	佐久市前山539	男	社会教育関係者 (佐久市区長会理事)	
櫻井 美智子	佐久市甲1317	女	社会教育関係者 (佐久市シニアクラブ連合会 副会長)	
金森 輝雄	佐久市桜井123	男	社会教育関係者 (佐久市人権同和教育 推進員代表)	
山崎 玲子	佐久市岩村田3391-2	女	社会教育関係者 (佐久市少年センター補導委 員協議会副会長)	
竹田 チヨ子	佐久市岩村田2169-5	女	社会教育関係 (佐久市男女共生ネットワー ク副会長)	(新任)
小林 智恵子	佐久市取出町712-1	女	社会教育関係者 (佐久市公民館学習グループ 連絡協議会)	(新任)
土屋 信幸	佐久市望月191-1	男	家庭教育関係 (佐久市P.T.A連合会長)	(新任)
武井 宣子	佐久市根々井381-1	女	学識経験者 (合唱グループ指導員)	
井出 寛	佐久市白田2170	男	学識経験者 (元白田地区学習グループ協 議会長)	
柳澤 優子	佐久市田口4809-1	女	学識経験者 (旧白田町公民館報編集委 員)	
塩川 里美	小諸市森山830	女	学識経験者 (元浅科公民館長)	
東城 公人	佐久市長土呂607	男	学識経験者 (長土呂地域公民館長)	
土屋 しのぶ	佐久市布施488	女	学識経験者 (公民館料理教室講師)	
山田 久美子	佐久市平賀2610-5	女	学識経験者 (元佐久市公民館報編集委 員)	
小林 一洋	佐久市春日1271-1	男	学識経験者 (元教職員)	

○佐久市公民館条例

改正

平成18年3月24日条例第24号
 平成24年3月28日条例第2号
 平成25年3月18日条例第24号
 平成27年3月24日条例第22号
 平成28年12月19日条例第36号
 令和2年12月22日条例第38号

佐久市公民館条例

(設置)

第1条 社会教育法（昭和24年法律第207号。以下「法」という。）第24条及び地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2の規定に基づき、公民館を設置する。

(名称及び位置)

第2条 公民館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
佐久市中央公民館	佐久市猿久保165番地1

2 公民館に地区館を置き、その名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
佐久市浅間公民館	佐久市岩村田543番地
佐久市野沢公民館	佐久市取出町183番地
佐久市中込公民館	佐久市中込一丁目17番地8
佐久市東公民館	佐久市志賀6059番地1
佐久市臼田公民館	佐久市下越16番地5
佐久市浅科公民館	佐久市甲1359番地3
佐久市望月公民館	佐久市望月303番地

(職員)

第3条 公民館に館長、事務職員その他必要な職員を置く。

(公民館運営審議会)

第4条 公民館に法第29条の規定により公民館運営審議会（以下「審議会」という。）を置く。

- 2 審議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が委嘱する。
- 3 審議会は、委員20人以内で組織する。
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

第5条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

平成17年4月1日条例第204号

○佐久市公民館運営審議会規則

改正

令和元年12月20日教委規則第5号

佐久市公民館運営審議会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、社会教育法（昭和24年法律第207号）及び佐久市公民館条例（平成17年佐久市条例第204号）に定めるもののほか、佐久市公民館運営審議会（以下「審議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(会長)

第2条 審議会に会長を置き、委員が互選する。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、会長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(職務)

第3条 審議会は、佐久市教育委員会の諮問に応じ、公民館事業の企画及び実施について調査及び審議をする。

(会議)

第4条 審議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が必要に応じ招集し、会長が議長となる。

2 会議は、審議会委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
 (専門部会)

第5条 審議会は、必要により専門部会を設けることができる。

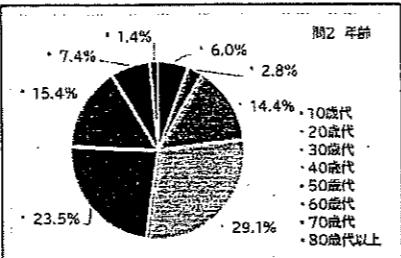
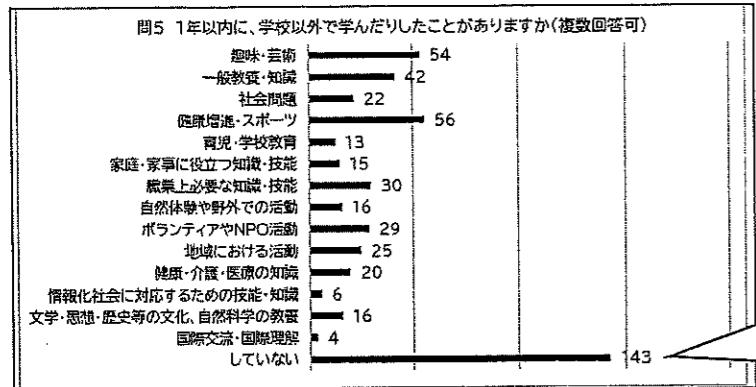
附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（令和元年12月20日教委規則第5号）

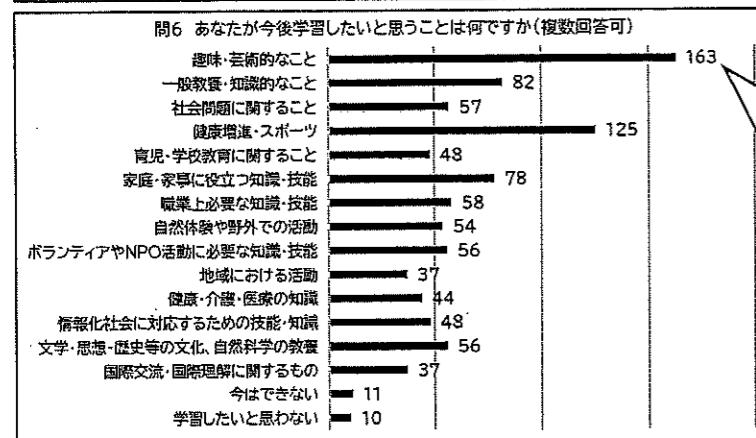
この規則は、令和2年4月1日から施行する。

<生涯学習及び公民館に関するアンケート> (R2) 抜粋
手法: 電子申請 回答数: 285 件 男女比: 男性 44% : 女性 56%
年齢層: 右グラフ (40代以下が 5割を超えてる)
※公民館の課題を共有して真正面から取り組みたい。

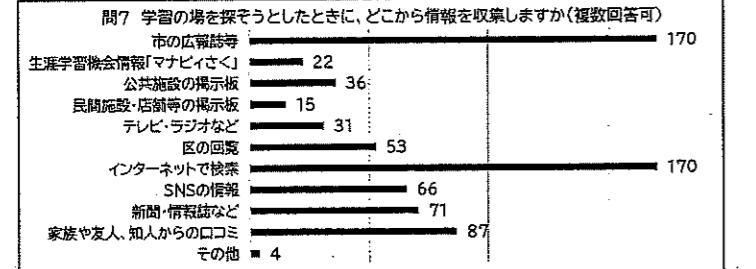


<問5>
1年以内に学校以外で学んだりしたことのない人が 50.2% を占める。

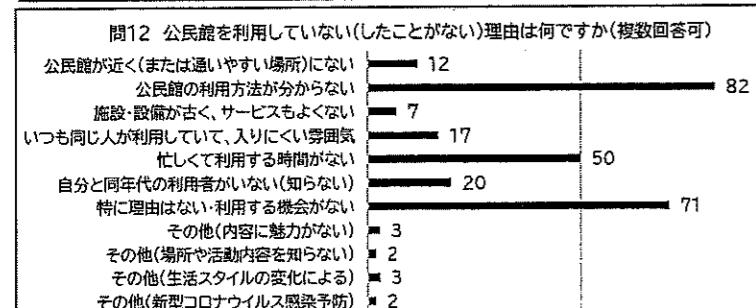
公民館の役割はまだまだあります。



<問6>
今後したいことは、
① 「趣味・芸術のこと」
② 「健康増進・スポーツ」
③ 「一般教養・知識のこと」
と続く。
カルチャースクール的な学び
にとどまらず、「地域における
活動」(13%)につなげるには?

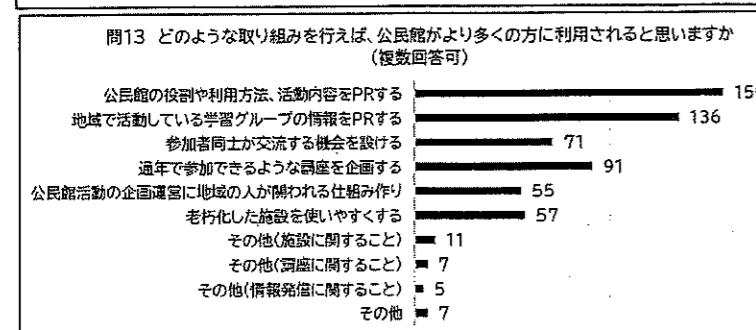


<問7>
学習の場は、「市の広報」と
「インターネット検索」が他を
大きく引き離している。公民館
報をより充実させること、ホー
ムページの入りやすさ、見易さ
等の改善等が求められる。



<問12>
公民館を利用したことがない理
由は、「利用方法が分からぬ
い」が最も多い。

公民館の場所、地域公民館と市
の公民館の役割、公民館と建物
の名称の翻訳、看板の設置等課
題が多い。



<問13>
公民館や学習グループの情報を
もっとPRしなければならぬ
い。

<問13のその他への記述> どのような取り組みを行えば、公民館がより多くの方に利用されると思いますか(施設に關すること) ※記載要約

- 予約をインターネットでできるようにする等、ネットワーク環境の整備
- カフェスペース、フリースペース、少人数で使える個室の整備
- 幼児が遊べる遊具、授乳スペース等の整備
- (講座に關すること) ※記載要約
- 講座の内容を魅力的にして、新規の人が入りやすいようにする
- 講座の開催日時の選択肢を増やしてほしい
- 子育て世代が参加しやすい講座を増やしてほしい
- (情報発信に關すること) ※記載要約
- 情報をまとめないで個別にすべて流す
- ケーブルテレビなどで公民館の特別コーナーをつくる
- SNS、さくネット、市の封筒などへの情報掲載

(その他)※記載要約

- 既存のグループに新しく入りにくい雰囲気がある
- 開かれた場所にして、活動をしていても気軽に立ち寄れる寄り合い場所にする
- 講座に参加している人の口コミ(を活かす)

記述(延30人)には若い世代
のアイディアや実際に利用
している方の思いが含まれ
ていると思われる。
↓
審議会等では出されていな
い内容について検討してい
く必要がある。

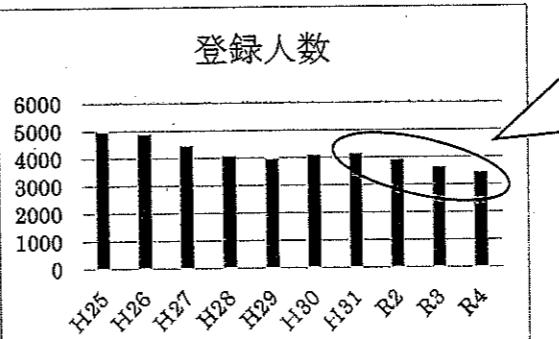
<その他の資料から>

◆公民館利用者について (出典: 令和3年度 地区館の講座に伴う参加者アンケート調査報告書 考察の抜粋)

※109講座、1574人中1431人、90.9%からの回答による

- 男性 24%、女性 76% どの講座にも女性が積極的に参加されており、男性が少ない傾向にある。
- 男性は 60歳代、70歳以上の方が 90% 近くを占め、定年後の方が多いと思われる。
- 女性は 60歳代、70歳以上の方が 81%、30歳代から 50歳代が 17% と子育て世代もある程度参加している。

◆学習グループ登録人数の推移 (出典: 「学習グループ数の推移」)



平成31年度から3年間で学習グループへの登録人
数は4150人から3441人へと709名減少。
(平成25年からの10年間では1,527名の減少)

→ 高齢化、社会の変化等による減少傾向が、コロ
ナ禍によって加速していると考えられる。

◆公民館運営審議会 (R3・4) における意見(書面回答含む) の抜粋 (出典: 館長だよりNo.19)

- 人気講座は希望してもすぐにいっぱいになってしまい、なかなか参加できないとの声がある。午前・午後と同じ講座を複数回行うなどして多くの方の学ぶ意欲に応えられるようにしたい。
- 公民館活動のことを知らない人が多い。地区館での講座や学習グループの活動の様子を公民館報でもっと宣伝したらどうか。
- 高齢者が公民館に出かけるためには足の確保が必要。足がなくなった時、人との話ができなくなる。元気に100歳を迎えるには、例えば出前講座をするなど、今の公民館をどうしていくか考えていく必要がある。地域公民館でサロンをしているところがあったが、コロナでやらなくなっている。1, 2年やらないとまたできなくなってしまう。それが心配。
- 講師の高齢化により自然消滅してしまう学習グループが多くなるのでは。学習グループをどう支援していくか考えたい。
- 住まいの場所に関わらず、どの地区公民館にも参加できることを知らせてほしい。
- 80代の方々が公民館活動に積極的に参加できるよう希望講座を書いてもらって取り入れていったらどうか。

佐久市公民館の願い ~自治力を育てる学びの場としての公民館~【令和4年度】

- 佐久市中央公民館や7地区館及び235地域公民館が連携した活動を推進する。
- 公民館事業に対する評価・検証を行いながら、市民・地域の実情や要望に応える事業を企画開催する。
- 「集う・学ぶ・結ぶ」の役割を踏まえ、市民が生涯にわたって学び、それを活かし、互いに支え合う人づくり・地域づくりを推進する。

課題1 公民館活動の継承と発展

課題2 若い世代や男性の参加促進

課題3 地域づくりに繋がる活動推進

I. 講座の充実 ~「特色ある講座」の企画・運営~

○ 地域の良さを知り、地域の暮らしを考える講座の展開

☆ 地域の先人や財産を生かした講座展開による郷土愛の育成
☆ 各地区館の特性・特色を生かした講座の工夫
☆ 防災・人権を視点にした講座

○ 若い世代をひきつけ、次世代に継承される講座づくり

☆ 若い世代のニーズに応える講座(新分野)や初心者講座の開設
☆ 子ども対象の佐久を学ぶ講座の実施(歴史・文学・自然・生活等)
☆ 学生ボランティアの開発・推進

○ 新しい学習グループの創出につながる講座運営の工夫

☆ 講座から学習グループへの発展を促す働きかけ
☆ 初心者講座や子ども講座への学習グループによる支援の推進
☆ 世代間交流活動の拡大と工夫

○ 他機関や公民館同士の連携を大事にした講座の展開

☆ 地域公民館の活動の充実を図る働きかけや紹介
☆ 地区館の合同企画講座の実施
☆ 全市(民)的イベントとの連携(キッズサーキット等への協力)

学び合い高め合う公民館職員

II. 地域づくりをめざす地域公民館への支援 ~地域公民館モデル事業や研修会等の推進・充実~

III. 講座や学習グループの活動を活性化し、「まちづくり」に結ぶイベントの実施

PRの工夫
(館報・掲示・SNS等)

潤いと温かさに溢れ、立ち寄りたくなる公民館 ~明るい挨拶、楽しい会話、活動が見える掲示~

佐久市教育振興基本計画 骨子案

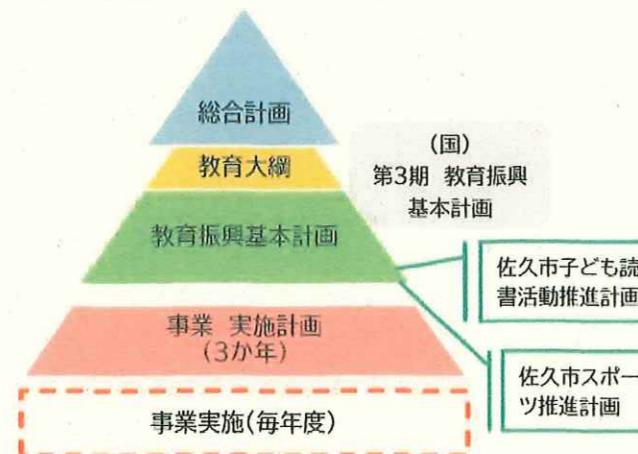
計画の位置づけ

本計画は、教育基本法第17条第2項の規定に基づく、佐久市の教育の振興のための施策に関する基本的な計画です。

「第二次佐久市総合計画」の基本構想の教育・文化分野の施策の方向性に基づき、教育に関する施策を総合的かつ体系的に構築する計画で、「佐久市教育大綱」と基本理念を共有する計画です。また、策定にあたっては、佐久市及び佐久市教育委員会が策定する各種計画との整合を図ります。

【計画期間】

令和5年度から令和8年度までの4年間



計画策定の背景

【社会情勢の変化】

- ・人口減少・少子高齢化の急速な進行
- ・人生100年時代の到来
- ・新型コロナウイルス感染症がもたらした社会の変化
- ・DX^{※1}の推進・超スマート社会(Society 5.0)の実現
- ・グローバル化や多極化、地球環境問題のさらなる進行
- ・持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた取組の推進
- ・ウェルビーイング^{※2}の実現
- ・価値観やライフスタイルの多様化

【佐久市の課題】

- ・人口減少、少子高齢化の進行への対応
- ・未来を切り拓く人材育成
- ・デジタル化の推進
- ・安心・安全な暮らしの確保
- ・持続可能な行政運営

計画の推進

本計画の進行管理にあたっては、Plan(計画)、Do(実施)、Check(評価)、Action(改善)の4つの視点に基づくPDCAサイクルの循環によることを基本とし、業務の継続的な改善を図ります。

佐久市総合計画

教育・文化分野 施策の方向性 「生涯にわたり学び、生きる力を育むまちづくり」

価値観やライフスタイルが多様化し、学び方や働き方の選択肢が広がった現代社会において、将来を担う子ども達が確かな夢や希望を持つことができるよう、生涯にわたり、主体的・創造的に学び、生きる力を育むまちづくりを目指します。

人口減少や核家族化により、ひとや地域の絆が希薄となりつつある現代社会において、これまで育まれて来た地域文化を将来に向かって継承していくとともに、心の豊かさを育む生活文化、芸術文化を享受することのできるまちづくりを目指します。

佐久市教育大綱

【目指す子ども像】

自ら考え、夢と志をもって、ともに未来を拓く子ども

変化の激しい時代を生き、未来を拓いていくために、人や自然とのかかわりあいの中で、自ら考え、夢と志を育みながら新たな世界を創っていくことができる子どもを「目指す子ども像」とします。

コスモスプランの実践

【目指す市民像】

生涯にわたり学び、互いに支え合い、輝き続ける市民

人生100年時代において、多様な学びを重ね、また地域社会の未来を拓いていくために他者と協力し合うことにより、互いの個性を生かしながら自己充足感をもって活躍し続けることができる市民を「目指す市民像」とします。

佐久市教育振興基本計画

重点的に取り組む事項

(1) 未来を拓く学びの推進

※子ども像の実現のために

ア 個別最適な学びと協働的な学びの推進

イ 幼児教育から高等教育まで切れ目のない連携と支援の充実

ウ ICTを活用した教育の推進

エ 急激な社会変化とグローバル化に対応した教育の推進

オ 自立に向けたキャリア教育の推進

(2) 全ての子どもの状況に応じた学びの保障

※子ども像の実現のために

ア 特性に応じた特別支援教育の推進

イ 環境に応じた就学援助等の充実

ウ 多様な子どもの学習機会の保障

エ 不登校対策の充実

※青の下線がある項目は、社会教育部関係施策に記述がある基本目標です。

(3) 家庭や地域の教育力の向上に向けた支援

※子ども像・市民像の実現のために

ア 地域の中で学びあえる体制の充実

イ 保護者に寄り添う家庭教育の推進

ウ 情報化社会の変化に応じた教育の推進

エ 生活習慣を身に付けるための指導の充実

(4) 生涯にわたりともに学ぶ力の育成

※子ども像・市民像の実現のために

ア 生涯学びを重ねる取組の推進

イ 発達段階・ライフスタイルに応じた読書活動の推進

(5) 豊かな「こころ」を育む学びの推進

※子ども像・市民像の実現のために

ア 道徳教育・人権教育の推進

イ 男女共同参画社会に向けた取組の推進

ウ 多様な文化・芸術活動の促進

エ 社会活動など体験を通した学びの推進

オ いじめ防止対策の充実

(6) 健やかな「からだ」を育む学びの推進

※子ども像・市民像の実現のために

ア 生涯スポーツの振興・体力・運動能力の向上

イ 競技スポーツの振興・スポーツによる交流の創出

ウ 食に関する学びの推進と安心・安全な学校給食の充実

エ 健やかな暮らしを支える健康教育の推進

(7) 多様な学びと協働の仕組みづくりの推進

※子ども像・市民像の実現のために

ア 地域とともにある学校づくりの推進

イ 地域・団体・人がつながる学びの推進

ウ 多様な学びの居場所づくりの推進

エ 地域ぐるみの青少年育成の推進

(8) ふるさと世界の歴史・文化の学びと理解の促進

※子ども像・市民像の実現のために

ア 世界とつながる国際理解教育の推進

イ 友好都市等との交流による学びの充実

ウ 地域を知る郷土教育の推進

エ 文化財の保護・継承と学びとしての活用

(9) 学びを支える学習環境の充実

※子ども像・市民像の実現のために

ア 学校教育施設の充実

イ 社会教育施設の充実

ウ 学校・地域の安全対策の充実

エ カリキュラム・マネジメント^{※3}と授業改善に係る支援の充実

オ 教職員の働き方改革の推進

※1 DX(デジタルトランスフォーメーション):ICT(情報通信技術)の浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。

※2 ウェルビーイング:一人一人の多様な幸せであるとともに社会全体の幸せということ。

※3 カリキュラム・マネジメント:教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと。

教育振興基本計画案における社会教育部関係施策一覧表

(1)未来を拓く学びの推進

基本目標	現状と課題	今後の主な取組	備考欄・メモ欄
ア 個別最適な学びと協働的な学びの推進			
イ 幼児教育から高等教育まで切れ目のない連携と支援の充実			
ウ ICTを活用した教育の推進	<p>図書館は、地域の情報拠点として知識や情報資源を蓄積・保存・提供するとともに、市民の情報及び情報伝達手段を主体的に選択し活用していく能力の向上に資するための取組みが必要ですが、設備等の問題もあり不十分です。</p> <p>近代美術館では、ICTを利用した学びに関する研究の蓄積が少なく、また、収蔵資料の価値が市民に充分に理解されていません。</p>	<p>図書館では、市民の情報活用能力の向上を支援するため講座等学習機会の提供に努めるとともに、そのための環境整備に努めます。</p> <p>近代美術館では、収蔵資料の写真等のデジタル化により、デジタル化した情報を美術館等の場所以外で利用できる教育普及の仕組みを検討します。</p>	
エ 急激な社会変化とグローバル化に対応した教育の推進	<p>異国文化・宗教・価値観等に触れる機会を提供するために佐久市ふるさと創生人材育成事業として、エストニア共和国、モンゴル国を訪問する中学生海外研修や両国の生徒を迎える、市内中学校での授業の体験などを実施していますが、外的要因に左右されず毎年継続的に相互交流ができる方法を検討する必要があります。</p>	<p>佐久市ふるさと創生人材育成事業「中学生海外研修事業」、「子ども交流研修事業」の実施など、外国の文化、価値観等に触れる機会の充実を図るために、相互渡航による交流のほか、インターネット等を活用した交流を行います。</p>	
オ 自立に向けたキャリア教育の推進			

(2)全ての子どもの状況に応じた学びの保障

基本目標	現状と課題	今後の主な取組	備考欄・メモ欄
ア 特性に応じた特別支援教育の推進	<p>図書館ではLLブックやDAISY(視覚障がい者のためのデジタル録音図書)資料の充実を図っていますが、資料数が十分でなく、その資料内容や使い方などの情報提供を工夫する必要があります。</p>	<p>DAISY資料やLLブック等、特性に応じた図書館資料の収集と提供を進めるとともに積極的な広報に努めます。</p>	
イ 環境に応じた就学援助等の充実			
ウ 多様な子どもの学習機会の保障			
エ 不登校対策の充実			

(3)家庭や地域の教育力の向上に向けた支援

基本目標	現状と課題	今後の主な取組	備考欄・メモ欄
ア 地域の中で学びあえる体制の充実	<p>地域での市民の多様な生涯学習活動を支援するため、様々な分野の指導者や専門知識を有し助言をすることができる人材情報を佐久市生涯学習リーダーバンクに登録し情報提供していますが、新規登録者数や情報提供依頼数が少ないことから、制度についてわかりやすく、かつ広く周知する必要があります。</p> <p>近代美術館は地域の中で学びあう場となりますが、18歳未満の観覧者は児童生徒美術展など特定の展覧会に集中しており、コレクション展等の観覧者は伸び悩んでいます。</p>	<p>生涯学習活動に関する指導的役割を担う人材を育成するとともに、専門知識を有する人材情報を収集し、佐久市生涯学習リーダーバンクへの登録を促進します。</p> <p>学びたいという意欲のある市民が、指導や助言を得ることで生涯学習の場をつくることができるよう、広く佐久市生涯学習リーダーバンク制度と人材情報を周知します。</p> <p>近代美術館では、対話型鑑賞の内容の充実と指導者(講師)確保に向けての検討を行います。また、18歳未満の観覧無料を試行します。</p>	類似の情報提供を行う生涯学習課青少年係と情報一元化(R4)
イ 保護者に寄り添う家庭教育の推進			
ウ 情報化社会の変化に応じた教育の推進	<p>価値観が複雑、多様化する中で、資料・情報の収集にあたっては市民のニーズに応えるため、情報処理機能の向上を図り有効かつ迅速なサービスを提供できる体制が必要なことから、Wi-Fiなどの環境整備も含め更なる体制づくりをする必要があります。</p>	<p>図書館では、インターネットやデータベースなどの活用を含めたレンタルサービスやレファラルサービスの充実・向上を図ります。また、市民の生活や仕事に関する課題や、地域の課題解決に向けた活動を支援するサービスの提供を図ります。</p>	公民館では施設によって回線の速度や使い勝手に違いがある
エ 生活習慣を身に付けるための指導の充実			

教育振興基本計画案における社会教育部関係施策一覧表

(4)生涯にわたりともに学ぶ力の育成

基本目標	現状と課題	今後の主な取組	備考欄・メモ欄
ア 生涯学びを重ねる取組の推進	生涯学習活動が多様化とともにニーズが増加していることから、生涯学習に関する情報を広く周知するとともに、ニーズに応じた的確な情報を提供する必要があります。	学びへの関心を高めるとともに参加を促進するため、生涯学習に関する情報を集約、毎月、生涯学習情報「マナビイさく」を作成し、公共施設への掲示やSNSなどの多様な媒体を活用し生涯学習情報の発信に努めます。	
	市民が求めている学習機会を提供するため、学びに対する市民ニーズを把握する必要があります。	生涯学習に関するニーズを把握するため、講座などの参加者に対するアンケート調査や、インターネットを活用した調査などに努めます。	公民館講座の終了後に都度、参加者アンケートを実施中
	各施設の特性を活かし、歴史講座や展覧会、天体観望会、ワークショップなど様々なイベントを開催しています。	所蔵する資料の充実を図り施設の魅力を向上させるとともに、調査研究を深め資料を活用した展覧会や講座などを開催します。	
	運動部活動は中学校における生徒数の減少の加速化により維持が困難になってきていることや、教員の業務負担が大きくなっていますことなどから、将来にわたり子どもたちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保していく必要があります。	中学生の運動部活動において、学校部活動から地域部活動への円滑な移行が図られるよう、スポーツ推進委員や各種競技団体などのスポーツに関する専門的知識を有する人材をはじめ、地域との連携強化を図ります。	
イ 発達段階・ライフスタイルに応じた読書活動の推進	発達段階に応じた図書の整備・提供や読書活動推進のための読み聞かせ等の実施に取り組んでいます。また、保護者等に向けた講座を行っていますが、展示会等の実施や学校等の教育施設等との連携はまだ不十分です。	利用者のニーズに応じた図書館資料の収集と提供を進めるとともに、他の施設・関係機関・団体と連携を図り学習活動を支援する機能の充実を図ります。	

(5)豊かな「こころ」を育む学びの推進

基本目標	現状と課題	今後の主な取組	備考欄・メモ欄
ア 道徳教育・人権教育の推進			
イ 男女共同参画社会に向けた取組の推進			
ウ 多様な文化・芸術活動の促進	生涯にわたり市民がより豊かな人生を送るために活力源となるよう、様々な文化・芸術に親しむ機会の充実を図るとともに、市民の文化・芸術活動の場の提供と活動の促進を図る必要があります。	多様な文化・芸術に触れる機会の提供と充実を図るため、関係団体と連携し魅力的なイベントを企画・開催します。	
	文化芸術活動の振興には長期にわたり継続的な取り組みが必要になることから、文化振興基金運用益を効果的に活用し、現在の取組みの継続や見直しのほか、新たな取り組みを検討する必要があります。	文化振興基金運用益の活用については、より多くの方が気軽に文化芸術に親しみ、参加できるような事業の内容を企画する必要があることから、市文化振興推進企画委員会からの意見のほか、市民アンケート等も参考にニーズを踏まえた検討を図ります。	
	幼少期から文化・芸術に親しむことは、子どもたちの文化・芸術活動に対する意識の醸成に大きく影響することから、鑑賞や参加の機会を充実させる必要があります。	学校や各種団体と連携し、次代を担う子どもたちや市民が優れた文化・芸術に親しむ機会の提供と充実を図ります。これにより感性と創造性が磨かれ、未来の文化芸術を担う人材育成が図られます。	
	人口減少や少子高齢化等を背景に、文化・芸術活動においても後継者不足や活動資金の減少による活動の縮小傾向が懸念されることから、若い世代を含めた様々な人たちが魅力を感じ、新たな担い手となることにつなげる必要があります。	「佐久市芸術文化活動事業補助金」や「佐久市芸術文化振興激励金」などにより、自主的な文化・芸術活動を支援することで新たな担い手や若い世代の育成を図ります。	
	文化関連施設の連携強化と魅力を高めるため、情報共有のほか共同企画事業の実施に関する協議などの文化施設館長会議を開催しています。	各施設の特色を生かした共通したテーマでの企画展の開催を進めるとともに、文化施設の相互連携による取組を進めます。また、観光など他分野との連携による新しい魅力づくりに努め、多くの人が訪れる魅力ある施設運営に努めます。	中央公民館も会議に加わり、情報共有等連携を図っている
	観覧系施設の利用者増加のため、歴史講座、絵画展や天体観望会、ワークショップなどの様々なイベントを開催しています。		
	近代美術館では市民の美術活動の発表、交流の場として、公募展を開催しています。また、視聴覚室を展示スペースとして市民に貸し出す制度があります。	市民等を対象とした公募展では、応募者の増加を図るため実施内容を検討し、引き続き開催します。また、市民が制作した美術作品の展示スペースとして利用してもらうため、制度の中で視聴覚室を貸し出します。	
	近代美術館では、収蔵資料の特性を生かしたコレクション展を開催しており、観覧者から高い評価を得ていますが、来館したことのない市民も少なくありません。また、約3400点の収蔵資料は充実しているものの、制作から50年以上経過した資料が増加し、修復する必要があります。さらに、経年により今後も増加する見込みがあります。	コレクション展と、その展示内容に関連する講演会、ギャラリートーク、ワークショップなどの実施により、市民がコレクションを楽しむ機会の創出と充実を図ります。また、収蔵資料の状態調査をもとに修復計画をたて適切な修復を実施するとともに、修復した収蔵資料や修復過程は成果として公開します。	
	日常生活で自然と触れ合う機会や多様な人々との交流の機会が減少していることから、青少年が心豊かに健やかに成長する上で必要とされる様々な体験活動や交流の場面を提供する必要があります。	子どもたちが自ら考え主体的に行動していく体験活動の機会を提供します。また、研修後の感想やアンケート調査などに加え、終了後の追跡調査を行うことにより、研修の効果・検証を行い研修内容の拡充を図ります。	
	多彩な体験を通して、自ら学び自ら考える力を持ち、社会性やリーダーシップ等を身につけた子どもを育成するためにジュニアリーダー研修を実施していますが、研修後の事業効果を検証する必要があります。		
エ 社会活動など体験を通した学びの推進	ブックスタート事業や読書通帳などを利用し乳幼児から豊かな読書活動の推進に務めていますが、家庭により読書環境や読書活動に差があり、今後も幼児期から18歳までの切れ目のない支援をする必要があります。	年齢に応じた図書館資料の収集と資料・読書活動に関する情報を提供して行きます。	
	オ いじめ防止対策の充実		

人を「そだてる」「人づくり」

教育振興基本計画案における社会教育部関係施策一覧表

(6) 健やかな「からだ」を育む学びの推進

基本目標	現状と課題	今後の主な取組	備考欄・メモ欄
ア 生涯スポーツの振興・体力・運動能力の向上	運動部活動は中学校における生徒数の減少の加速化により維持が困難になっていることや、教員の業務負担が大きくなっていることなどから、将来にわたり子どもたちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保していく必要があります。【再掲】	中学生の運動部活動において、学校部活動から地域部活動への円滑な移行が図られるよう、スポーツ推進委員や各種競技団体などのスポーツに関する専門的知識を有する人材をはじめ、地域との連携強化を図ります。【再掲】	
	性別や年齢、障がいの有無などを問わず、全ての市民が生涯にわたり心身ともに健康で暮らせるよう、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくりを進める必要があります。	ライフステージやライフスタイルに応じた「子ども」「働き盛り、子育て世代」「高齢者」「障がい者」の、誰もが気軽に参加できるスポーツ教室やスポーツイベントなどの開催により、スポーツへの参加を促します。	
	市民が生涯にわたりスポーツに親しむためには、地域スポーツを支えているスポーツ協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブなどの関係団体が重要な役割を担っており、今後も安定的かつ継続的な活動ができる環境をつくる必要があります。	地区単位のスポーツ大会などを開催することにより地域スポーツ団体を中心とした地域コミュニティの醸成を図るほか、スポーツ教室などの委託により活発な活動促進することで、安定的かつ継続的な運営の支援を図ります。	
イ 競技スポーツの振興・スポーツによる交流の創出	運動部活動は中学校における生徒数の減少の加速化により維持が困難になってきていていることや、教員の業務負担が大きくなってきていていることなどから、将来にわたり子どもたちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保していく必要があります。【再掲】	中学生の運動部活動において、学校部活動から地域部活動への円滑な移行が図られるよう、スポーツ推進委員や各種競技団体などのスポーツに関する専門的知識を有する人材をはじめ、地域との連携強化を図ります。【再掲】	
	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会などを契機とした各種競技スポーツの関心の高まりから、スポーツ協会や各種競技団体などと連携した、競技スポーツを振興する必要があります。	トップアスリートのプレーを「みる」機会を充実させるため、プロスポーツの試合やスポーツ合宿・キャンプなどの積極的な誘致により、各種競技スポーツへの関心の高まりや参加意識の向上を図ります。	
	令和10年に長野県で開催予定の「国民スポーツ大会(国スポ)」「全国障害者スポーツ大会(全障スポ)」に向けて準備を進めるとともに、本市にゆかりのある選手が活躍できるよう、スポーツ協会や各種競技団体などと連携し、次世代の選手を育成するとともに、市民の機運醸成を図る必要があります。	アスリートの発掘、育成、強化のため、スポーツ協会や各種競技団体と連携して、スポーツ大会などを開催し、練習の成果を発揮する機会を充実させることにより、競技力の向上を図ります。また、本市で開催予定の競技(柔道、空手道、アーチェリー、軟式野球)について、県・体育協会・各種競技団体などと連携し計画的な準備及び運営体制の構築を図ります。	
ウ 食に関する学びの推進と安心・安全な学校給食の充実	スポーツを通じて地域の人々が交流を深めていくことは、相互理解を深めるとともに、地域への誇りと愛着を深めることになり、地域の一体感の醸成や地域活力の向上につながるため、交流機会の創出を図る必要があります。	本市とゆかりのある都市と連携し、スポーツ交流会の開催などを通じて、人と人、地域と地域の相互交流を推進します。また、本市にゆかりのあるオリンピアンなどを招き、スポーツ教室の開催や講演会などを通して、市民との交流機会の創出を図ります。	
	スポーツ合宿やスポーツ大会・イベントの開催は、交流人口の拡大を図り、地域における社会的な効果及び経済的な効果が期待されることから、ウィズ/ポストコロナ時代を見据えたスポーツを通じた地域活性化を図る必要があります。	本市の体育施設等の「スポーツ資源」を生かし、県域を超える大規模な大会などを誘致し、市外からの誘客を図るほか、年間日照時間の長さや交通網の優位性などの「地域の強み」を生かし、積極的なスポーツ合宿の誘致を推進します。	
エ 健やかな暮らしを支える健康教育の推進			

【人を「そだてる」・人づくり】

教育振興基本計画案における社会教育部関係施策一覧表

(7)多様な学びと協働の仕組みづくりの推進

基本目標	現状と課題	今後の主な取組	備考欄・メモ欄
ア 地域とともにある学校づくりの推進			
イ 地域・団体・人がつながる、学びの推進	<p>社会教育に関する諸問題について調査研究などを行うため、社会教育委員会議を開催しています。</p> <p>社会教育に関する特定事項の指導をはじめ、学習相談、社会教育団体の育成、生涯学習関連事業など、社会教育指導員の役割は年々、重要となっています。</p> <p>図書館利用者の自主的・自発的な学習活動を支援するため、講座や関係機関と連携し学習機会を提供するよう努めていますが、多様な学びに資する学習支援や地域・団体・人がつながるような学習機会を提供する必要があります。</p>	<p>社会教育委員だより「よかぜ」の発行を継続し、社会教育委員の活動内容の周知を図るとともに、定期的な会議の開催により社会教育に関する諸問題への対策を支援します。</p> <p>社会教育指導員だより「社会教育指導員の部屋」を定期的に発行し、社会教育指導員の活動内容の周知を図るとともに、生涯学習関連事業など様々な場面において専門的知識を生かした支援に努めます。</p> <p>自主的、自発的な学習活動を支援するため、ボランティア団体と連携し、講座の開催や図書館資料の展示など多様な学習機会の提供に努めます。</p>	
人・まちを「つなげる」～人づくり・まちづくり～	<p>運動部活動は中学校における生徒数の減少の加速化により維持が困難になってきていることや、教員の業務負担が大きくなっていますことなどから、将来にわたり子どもたちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保していく必要があります。</p> <p>性別や年齢、障がいの有無などを問わず、全ての市民が生涯にわたり心身ともに健康で暮らせるよう、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくりを進める必要があります。【再掲】</p>	<p>中学生の運動部活動において、学校部活動から地域部活動への円滑な移行が図られるよう、スポーツ推進委員や各種競技団体などのスポーツに関する専門的知識を有する人材をはじめ、地域との連携強化を図ります。</p> <p>ライフステージやライフスタイルに応じた「子ども」「働き盛り、子育て世代」「高齢者」「障がい者」の、誰もが気軽に参加できるスポーツ教室やスポーツイベントなどの開催により、スポーツへの参加を促します。【再掲】</p>	
ウ 多様な学びの居場所づくりの推進	<p>高齢化と新型コロナウイルスの影響により、学習グループ数の減少と地域公民館活動の停滞が顕著になっています。今後、グループ活動の中心となっている高齢の世代が活動できなくなることも懸念されるため、幅広い年代が学習グループ活動等に興味を持てるような取組を行う必要があります。</p> <p>講座等の参加者減少、施設利用者の高齢化、固定化の傾向がみられることから、多様な世代が参加しやすい講座や、時代の変化を捉えた講座の実施など、誰もが気軽に、また主体的に学ぶことのできる環境を充実する必要があります。</p>	<p>学習活動の主体性をより強化するため、地域公民館や公民館学習グループの活動を支援するとともに、講座参加者などの学習グループへの加入支援や、新たなグループの立ち上げを支援します。</p> <p>多世代交流や探究的な学習の場となる、学習グループと小中学生による公民館体験学習などを通じ、学習グループ活動の活性化を促すとともに、地域に開かれた学校づくりを側面から支援します。</p>	<p>学習グループの活動は公民館活動の根幹をなすものであるため</p> <p>公民館としてのコミュニティスクール推進</p>
	<p>性別や年齢、障がいの有無などを問わず、全ての市民が生涯にわたり心身ともに健康で暮らせるよう、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくりを進める必要があります。</p>	<p>オンライン講座やスマートフォンの使い方教室など、市民の多様な学習ニーズに応じた講座等の開催により、学習機会の更なる充実を図ります。</p> <p>SNSなどの媒体を活用し、講座をはじめとする生涯学習活動に関する情報発信を行い、多様な世代に向けた学習のきっかけづくりを進めます。</p>	<p>高齢者向けのスマホ教室等を開催していく</p> <p>講座の模様などをツイッターで発信していく</p>
エ 地域ぐるみの青少年育成の推進	<p>青少年を取り巻く社会環境の変化を踏まえ、地域、学校、家庭、関係団体などと連携し、地域ぐるみで青少年を育てる体制づくり、環境づくりを進める必要があります。</p> <p>地域のつながりの希薄化により、子どもたちを地域で見守り育てる機能や、地域の防犯機能が低下傾向にあることから、子どもの見守りや非行を未然に防止するための取組を進める必要があります。</p> <p>スマートフォン等の情報通信機器の普及に伴い、青少年がSNSなどのインターネット環境におけるトラブルや犯罪に巻き込まれる事案、また飲酒・喫煙・薬物乱用などの有害環境に巻き込まれることが懸念されているため、啓発を強化する必要があります。</p>	<p>地域ぐるみで子どもを見守り育てる意識を醸成するため、地域の特徴を活かした育成会活動を支援するとともに、模範となる育成会活動の紹介や各種イベント情報の共有・周知を図ります。</p> <p>青少年の非行を未然に防止するための街頭補導活動や、青少年に有害な地域環境の実態調査、「青少年健全育成協力店」の登録活動などにより、青少年の健全な育成に向けた環境づくりを推進します。また、SNSなどのインターネット環境の適切な使用に関する啓発活動や、飲酒・喫煙・薬物乱用防止のための啓発の強化を図ります。</p>	
	<p>運動部活動は中学校における生徒数の減少の加速化により維持が困難になってきていることや、教員の業務負担が大きくなっていることなどから、将来にわたり子どもたちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保していく必要があります。【再掲】</p>	<p>中学生の運動部活動において、学校部活動から地域部活動への円滑な移行が図られるよう、スポーツ推進委員や各種競技団体などのスポーツに関する専門的知識を有する人材をはじめ、地域との連携強化を図ります。【再掲】</p>	

教育振興基本計画案における社会教育部関係施策一覧表

(8)ふるさと世界の歴史・文化の学びと理解の促進

基本目標	現状と課題	今後の主な取組	備考欄・メモ欄
ア 世界とつながる国際理解教育の推進	異国文化・宗教・価値観等に触れる機会を提供するために佐久市ふるさと創生人材育成事業として、エストニア共和国、モンゴル国を訪問する中学生海外研修や両国の生徒を迎える、市内中学校での授業の体験等を実施していますが、外的要因に左右されず毎年継続的に相互交流ができる方法を検討する必要があります。【再掲】	佐久市ふるさと創生人材育成事業「中学生海外研修事業」、「子ども交流研修事業」の実施など、外国の文化、価値観等に触れる機会の充実を図るために、相互渡航による交流のほか、インターネット等を活用した交流を行います。【再掲】	
イ 友好都市等との交流による学びの充実	銀河連邦共和国の子どもたちの友好を深めるため、毎年一回、一堂に会して銀河連邦子ども留学交流を実施していますが、外的要因に左右されず毎年継続的に相互交流ができる方法を検討する必要があります。 国際感覚を身に付け、グローバルに活躍する人材を育成するため、姉妹都市であり、ホストタウンであるエストニア共和国サク市と友好都市のモンゴル国スパートル区の子どもたちの相互渡航による交流を行っていますが、外的要因に左右されず毎年継続的に相互交流ができる方法を検討する必要があります。	銀河連邦子ども留学交流により、お互いの郷土について紹介し合うことで学び合い、ともに過ごすことで社会性や豊かな人間性を育むための交流機会を創出します。また、海外の姉妹都市等との交流においては相互渡航による交流のほか、インターネット等を活用した交流も行い、異なる文化や言語に触れることで多文化共生についての理解を深め、国際感覚を身につける機会を創出します。	
ウ 地域を知る郷土教育の推進	スポーツを通じて地域の人々が交流を深めていくことは、相互理解を深めるとともに、地域への誇りと愛着を深めることになり、地域の一体感の醸成や地域活力の向上につながるため、交流機会の創出を図る必要があります。【再掲】 「佐久の先人」の功績を広く周知するためには、冊子の販売やFMを使った紹介のほか、様々なツールや手段を検討する必要があります。	本市とゆかりのある都市と連携し、スポーツ交流会の開催などを通じて、人と人、地域と地域の相互交流を推進します。また、本市にゆかりのあるオリンピアンなどを招き、スポーツ教室の開催や講演会などを通して、市民との交流機会の創出を図ります。【再掲】 先人の功績を学ぶため「わがまち・佐久市民講座」や、講演会などを関係機関や関係団体と連携し開催することのほか、動画配信サービスYoutubeなども活用し情報発信することで市民がより身近に学べる機会の提供を図ります。また、近代美術館では、地域ゆかりの美術家の調査研究、作品の展示と記録を実施していきます。	「公民館報」でも定期的に、佐久の先人を特集している
エ 文化財の保護・継承と学びとしての活用	文化財に対する関心を高め、郷土の歴史に対する理解を深めるとともに、郷土への誇りや愛着の心を育むため、子どもから高齢者まで多くの市民が文化財に触れる機会を創出する必要があります。 図書館では、「佐久の先人」などに関わってミニ講座等を開催してきましたが、郷土にかかる資料提供や貴重な資料のアーカイブ化など課題が多くなっています。 近代美術館では、地域ゆかりの美術家の展覧会等を主要事業として実施していましたが、こうした美術家の常設展示ではなく、展示構成の一部として公開しています。また、調査も充分とは言えません。	こども考古学教室、出前講座、遺跡調査報告会等の開催により、文化財及び郷土の歴史に対する興味と理解を深めます。また、考古遺物展示室の周知に努めるとともに、その他文化財についても教育資料などとしての活用を図り、市民が文化財及び郷土の歴史を学ぶ機会を創出します。 自主的、自発的な学習活動を支援するため、ボランティア団体と連携するなど講座の開催や図書館資料の展示など多様な学習機会の提供に努めます。 貴重な資料のアーカイブ化を推進します。	
	文化財の滅失や散逸などの防止を図り、文化財を永く将来に継承するため、文化財をまちづくりに生かしながら、その継承に取り組む必要があります。 少子化による人口減少や新型コロナウィルス感染症の影響により、神事芸能等の行事が実施できず、民俗文化財を継承することが困難な状況が続いている。	文化財所有者等への定期的な状況調査等を実施することにより、文化財の保護・保存に努めます。	
		無形民俗文化財の後継者の育成など、貴重な文化財を後世に伝えるため、保存会や所有者などへの支援を引き続き行います。	
		市有文化財については管理を適切に行うとともにその存在と意義等を市民に広く周知することに努めます。また、国史跡である龍岡城五稜郭については「史跡龍岡城跡整備基本計画」に基づき、郷土への誇りや愛着の醸成に資する整備を計画的に進めます。	

教育振興基本計画案における社会教育部関係施策一覧表

(9)学びを支える学習環境の充実

基本目標	現状と課題	今後の主な取組	備考欄・メモ欄
ア 学校教育施設の充実			
イ 社会教育施設の充実	社会教育施設の利用状況や経過年数、各々の施設の持つ役割を踏まえ、佐久市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画等に基づき管理・設備の更新や、施設の複合化・多機能化等を行う必要があります。	誰もが、いつでも社会教育活動を行うことができる環境を整えておくため、佐久市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画等に基づき維持管理を行うとともに、施設の統廃合を含め計画的に設備の更新等を行うことで機能の充実を図ります。	公民館施設の改築は一段落したが計画的な設備等の更新は必要
		様々な世代が気軽に学習に取り組めるよう、市民ニーズを踏まえた公民館学習室等の機能強化を図ります。	公民館関係では浅間・野沢・中込・東の各会館に学習室機能あり
	文化施設には歴史的価値の高い美術品や資料等が保管されており、これらをデータ化し閲覧や公開等を行う中で幅広くPRを図る必要があります。	市民の文化・芸術活動拠点として、指定管理者制度の活用など効果的・効率的な運営に努めるとともに、計画的な整備や設備などの更新を進めます。また、収蔵品のさらなる活用に向け収蔵品管理のデジタル化を推進します。	
		生涯学習センター(野沢会館)は、令和6年度までに駐車場(外構)整備工事を完了します。	
	中央図書館は、建築後43年が経過し、施設の老朽化が著しく、躯体や設備等の全体的な劣化が進んでいるため、既に策定した個別施設計画に基づき整備事業を進めていく必要があります。	他の施設との複合化も視野に入れ、中央図書館として求められる機能の充実が図れるよう再整備を進めます。	
	近代美術館では、収蔵資料に対して収蔵スペースが狭い状況にあります。		
ウ 学校・地域の安全対策の充実	市民誰もが気軽に利用しやすい施設の環境づくりと施設の利用促進を図るために、指定管理者と連携し、効果的かつ効率的な施設の管理運営に努める必要があります。	指定管理者などとの一層の連携により、利用者の利便性やサービスの向上のため、低コスト化や使用料金の電子決済システムなどの検討を推進します。	公民館関係は高齢者の利用が多いものの、利便性向上に資するシステム導入の検討は必要
エ カリキュラム・マネジメントと授業改善に係る支援の充実			
オ 教職員の働き方改革の推進			

「学びの場を「ととのえる」「人づくり・まちづくり」へ

令和3年度 佐久市公民館事業実績

1 学習機会の提供と学習グループの育成

区分	学級・講座名等	事業主体	対象者	開催等の場所	回数等	参加人員	例年の学習内容等	備考
(1)乳幼児期	乳幼児学級	中央公民館	乳幼児とその保護者	5教室 中央東・浅間・中込・野沢 臼田	50回	延べ 798人	親子の遊び、自然や動植物とのふれあい、リズム体操、教えてドクター、乳幼児の栄養(食事)などを学習している。	5月～11月
(2)少年期	親子ふれあい学級	各地区館	小学生親子	各地区館	35回	554人	製作活動や体験学習等親子及び祖父母とのふれあいや、成人者との交流を通して、協調性を学び、思いやりの涵養と子どもの健全育成を図る。 陶芸、おやつ作り、子育て楽しみ隊、親子でクッキング、書初め、写生大会、飯ごう炊さんぽかを実施。	通年
	小学生の公民館体験学習	各地区館	小学校3・4年生	5地区館	4回	308人	小学校3・4年生の社会科の公民館見学に合わせて学習グループの皆さんと一緒に体験学習に加わってもらい、相互に交流を深めると共に、公民館活動について理解を深める。	6月～7月
	キッズinあいとぴあ	臼田公民館	市内幼稚・小・中学生親子他	あいとぴあ臼田	中止		親子で共同体験することにより、家庭教育の充実を図る。 (昔の遊び、リース・おもちゃ・おやつづくり、折り紙、プローライフル体験など)	
	もちづき子どもまつり	望月公民館	市内幼稚・小・中学生他	駒の里ふれあいセンター	中止		青少年健全育成のための体験学習等を行う。 (ニラせんべい・ポップコーンづくり体験、クイズ大会、水鉄砲・竹とんぼ飛ばし、紙工作など)	
(3)成人期	親子ふれあい劇場	望月公民館	市内幼稚・小・中学生の親子	駒の里ふれあいセンター	1回	139人	七夕コンサートを開催し、親子の親睦を図る。	7月
	創鍊の森子ども公民館	中央公民館	市内小学生及び保護者	市民創鍊センター	1回	20名	小学生とその保護者を対象に開催。当初は8月に予定していたが、「風車発電機を作ろう!」は中止、「粘土で手乗りワンちゃんを作ろう」を12月に延期して開催した。	12月
	食育セミナー	中央公民館	市内小学生及び保護者	市民創鍊センター	3回	32名	生涯にわたって健康でいきいきと元気に暮らすため、食を大切にする心を育てる。また、食に関する知識や選択する力を身につけ、健全な食生活を実践する力を養う。	10月～12月
(5)高齢期	令和3年成人式	中央公民館	新成人 (1年延期)	県立武道館	2回	506人	成人としての自覚と社会の一員としての責任と貢献。 式典・意見発表・記念撮影 (令和3年1月に予定されていた式典を開催)	1月
	令和4年成人式	中央公民館	新成人	県立武道館	2回	633人	成人としての自覚と社会の一員としての責任と貢献。 式典・意見発表・記念撮影	1月
(6)生涯全期	創鍊の森市民大学・大学院	中央公民館	65歳以上	市民創鍊センター他	16回	1,424人	心身共に健康で生きがいある生活を送るために、学習活動を通して楽しい仲間づくりを進め る。講義、野外研修及び創作実技等を実施。 大学院は大学修了者を対象に、地域や団体活動のリーダーとしての必要な知識や技能を修得。	5月～2月
(6)生涯全期	わがまち佐久・市民講座	中央公民館		佐久平交流センター	1回	来場者 172人	市民が自信を持って「佐久」を紹介でき、全国に誇れる特色ある街づくりを考える契機づくり。 第19回 演題:竹内好の人と思想 講師:評論家・作家 佐高信氏	12月11日
	市民ふれあい学級	各地区館		各地区館 地域公民館	187回	2,681人	私たちの暮らしに必要な生活課題、地域課題、伝統文化の継承等を学び実践しながら知識や教養を高め、人ととのふれあいを深める。	通年
	世代間交流学級	各地区館		各地区館	17回	252人	高齢者と他の世代が様々な活動を通して交流することにより、相互理解や連帯感を深める。 (しめ縄づくり、囲碁・将棋大会、マジック教室など)	通年
	通信俳句講座	中央公民館		中央公民館	月1回	延べ投句数 1,605件	通信(葉書による投稿)による俳句の学習。	通年
	学習グループ活動	中央公民館 地区館		中央公民館 各地区館		登録数 227グループ	自主学習グループの発足、育成指導。 浅間:30、野沢:63、中込30、東:14、臼田:47、浅科19、望月:24 (R4.4.1現在)	通年
	人権同和教育講座	各地区館		中央公民館 各地区館	4回	186人	講話・身近にある様々な差別の問題についての理解を深める。 公民館報への人権啓発記事の掲載。	通年

令和3年度 佐久市公民館事業実績

2 地域公民館活動の充実をめざす地域づくり

区分	学級・講座名等	事業主体	対象者	開催等の場所	回数等	参加人員	学習内容他	備考
地域活動の推進	第15次 モデル地域館事業	中央公民館 地域公民館	地域公民館	地域公民館		7地域公民館	地域館の事業を重点実施し活動の活性化を図る。 浅間地区:岩村田地区公民館 野沢地区:大沢地区公民館 中込地区:前林公民館 東地区:駒込公民館 白田地区:赤谷・入澤公民館 浅科地区:塩名田公民館 望月地区:布施地区公民館	令和3・4年度
	地域公民館活動の支援	中央公民館		地区公民館 地域公民館		26地区 235地域	地域公民館の組織づくりと事業活動の活性化を目的に地域公民館連絡協議会に委託料を交付し、地区、地域公民館活動を支援。 委託料 8,102,000円	
	地域公民館関係者研修会	中央公民館 地区館 地公連	公民館理事 地域公民館長	市民創鍊センターほか	2回	7人 43人	長野県公民館大会への参加…オンライン開催 地域公民館研修会…【赤牛先生出前講座】土砂災害 自分の命は自分で守る	9月16日 11月28日
	地区公民館のつどい (文化祭)	地区館・地域 公民館学習 グループ協 議会	子どもから 高齢者	7地区館	中止		地区館や、地域公民館の学習グループ等による作品展示、舞台発表と交流会。	
	地域公民館対抗 野球大会	浅科公民館 浅科地区 地域公民館		浅科総合グランド 浅科中学校体育館	中止		地区館のつどいの一環として、地域公民館対抗による野球大会を通じての親睦を図る。	
	書初展	白田公民館		あいとぴあ白田	1回	出品数 244点	例年は「あいとぴあ白田」にて作品を展示しているが、本年度は審査を実施したうえでホームページ上で受賞作品を紹介した。	
	生活改善運動	中央公民館 地区館 地域公民館					佐久地域2市2郡生活改善申し合わせ事項により推進。 各区へ依頼、公民館報などによる周知、チラシ配布、新盆見舞金の廃止運動(掲示用紙)	

3 学習情報・資料の提供と学習相談

区分	学級・講座名等	事業主体	対象者	開催等の場所	回数等	参加人員	学習内容他	備考
情報資料等の提供	館報編集活動 佐久市ホームページ FM放送 テレビ放送	中央公民館	全世帯	中央公民館他 FMさくだいら 佐久ケーブルテレビ			編集委員11名により 月1回発行 35,000部、県館報編集研修会へ参加。 公民館報(講座等開催報告・人権啓発・お知らせ等)の掲載情報提供。 放送出演 学習グループの紹介等。 地区館の学習グループ紹介等。	毎月1日発行 通年
	視聴覚教育活動	中央公民館 地区館		中央公民館・地区館			佐久広域連合視聴覚ライブラリーとの連携。	
	図書活動	地区館		浅間・野沢・ 中込・東地区館			図書の貸出・資料の閲覧等(蔵書数:1,681冊) 4年度中に移転予定の野沢公民館の図書について、整理を実施。	
	施設・教材備品の提供	中央公民館 地区館		中央公民館・地区館			地域公民館、各種団体、グループ等への施設、備品の貸し出し。	
	生涯学習リーダーバンク	中央公民館		中央公民館・地区館 市ホームページ	42 分野	登録者 133件	市民の多様な生涯学習活動を支援するため、指導者及び専門分野を有する方を登録し、その情報を市民に提供。 類似の情報提供を行っていた、生涯学習課青少年係との情報一元化を実施(4年度から運用)。	

令和3年度 佐久市公民館事業実績

4 生活文化の振興と充実

区分	学級・講座名等	事業主体	対象者	開催等の場所	回数等	来場者数	学習内容他	備考
生活文化	第17回 佐久市民総合文化祭	中央公民館		市民創鍊センター ・野沢会館	1回	1199人	生涯学習市民のつどい 市内の文化、芸術愛好者の作品発表(書道・写真・盆栽・華道・木彫等 全21部門) (菊花展同時開催)	11月6日、7日
	市民コーラスまつり	中央公民館		コスモホール	中止		市内のコーラスグループが一堂に集まり、お互いの交流を深めると共にコーラスを盛んにし、潤いのある文化生活の向上を図る。	
	佐久市短詩型文学交流 及び文学祭	中央公民館	一般、 小中学生	野沢小学校	1回	13人	詩や日本固有の文学である短歌、俳句、川柳という短い言葉に凝縮された短詩型文学の日頃の学習の成果を一堂に集め、発表するとともに、相互に交流し、親しむことにより創作活動の活性化を図り、芸術文化の向上に寄与する。文学祭は中止となつたが、野沢中での文学交流を実施。	10月7日
	伝統民族芸能文化(行事) の継承と交流	地区館 地域公民館		地域公民館			伝統的な民族芸能行事等の継承活動及び交流を通して明るい地域づくり。 地区館のつどいで地域の歴史紹介、小満祭・榦まつりなど地域の行事へ参加。	

公民館関係施設利用状況

1 利用件数

(単位:人)

区分	会館名	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	備考
市民会館	浅間会館	令和2年度	43	4	342	432	419	497	504	584	494	351	391	423	4,484	
		令和3年度	348	366	467	418	132	217	401	493	407	168	30	79	3,526	
		R2R3比較	305	362	125	-14	-287	-280	-103	-91	-87	-183	-361	-344	-958	
		令和4年度	299	294	441	441	393								1,868	
	中込会館	令和2年度	10	0	105	116	89	103	142	171	155	72	148	189	1,300	
		令和3年度	122	115	118	144	34	73	192	183	173	68	7	35	1,264	
		R2R3比較	112	115	13	28	-55	-30	50	12	18	-4	-141	-154	-36	
		令和4年度	121	154	167	144	104								690	
	東会館	令和2年度													0	改築に伴い令和2年4月～令和3年11月まで貸館利用なし
		令和3年度										26	16	2	1	45
		R2R3比較	0	0	0	0	0	0	0	0	26	16	2	1	45	
		令和4年度	32	34	47	54	61								228	
	浅科会館	令和2年度	6	0	35	50	33	50	55	57	44	21	0	17	368	令和3年2月までは旧浅科会館の数値
		令和3年度	72	53	72	74	25	42	81	91	72	30	18	34	664	
		R2R3比較	66	53	37	24	-8	-8	26	34	28	9	18	17	296	
		令和4年度	62	73	90	106	70								401	
	合 計	令和2年度	59	4	482	598	541	650	701	812	693	444	539	629	6,152	
		令和3年度	542	534	657	636	191	332	674	767	678	282	57	149	5,499	
		R2R3比較	483	530	175	38	-350	-318	-27	-45	-15	-162	-482	-480	-653	
		令和4年度	514	555	745	745	628								3,187	
	市民創鍊センター	令和2年度	43	6	170	211	159	200	233	190	193	70	188	280	1,943	
		令和3年度	251	218	241	234	85	124	271	235	222	88	32	67	2,068	
		R2R3比較	208	212	71	23	-74	-76	38	45	29	18	-156	-213	125	
		令和4年度	171	205	252	266	179								1,073	
	駒の里ふれあいセンター	令和2年度	9	1	29	70	38	44	46	48	38	12	39	47	421	
		令和3年度	46	52	67	65	23	27	65	61	58	38	12	2	516	
		R2R3比較	37	51	38	-5	-15	-17	19	13	20	26	-27	-45	95	
		令和4年度	45	58	72	73	44								292	
	中央公民館 所管施設	令和2年度	111	11	681	879	738	894	980	1,050	924	526	766	956	8,516	
		令和3年度	839	804	965	935	299	483	1,010	1,063	958	408	101	218	8,083	
		R2R3比較	728	793	284	56	-439	-411	30	13	34	-118	-665	-738	-433	
		令和4年度	730	818	1,069	1,084	851								4,552	
	野沢会館	令和2年度	104	0	455	499	451	552	625	637	553	232	433	549	5,090	
		令和3年度	477	440	487	475	188	283	477	559	461	183	62	100	4,192	
		R2R3比較	373	440	32	-24	-263	-269	-148	-78	-92	-49	-371	-449	-898	
		令和4年度	323	425	459	422	371								2,000	
	あいとぴあ臼田	令和2年度	9	9	142	183	164	179	207	207	192	73	161	206	1,732	
		令和3年度	184	181	202	220	64	95	211	197	187	60	15	52	1,668	
		R2R3比較	175	172	60	37	-100	-84	4	-10	-5	-13	-146	-154	-64	
		令和4年度	114	135	176	185	35								645	
	公民館関係施設合計	令和2年度	224	20	1,278	1,561	1,353	1,625	1,812	1,894	1,669	831	1,360	1,711	15,338	
		令和3年度	1,500	1,425	1,654	1,630	551	861	1,698	1,819	1,606	651	178	370	13,943	
		R2R3比較	1,276	1,405	376	69	-802	-764	-114	-75	-63	-180	-1,182	-1,341	-1,395	
		令和4年度	1,167	1,378	1,704	1,691	1,257								7,197	

公民館関係施設利用状況

2 利用人数

(単位:件)

区分	会館名	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	備考
市民会館	浅間会館	令和2年度	228	18	1,430	1,896	1,628	2,052	2,306	2,578	2,259	877	1,919	2,446	19,637	
		令和3年度	2,131	1,860	2,199	2,389	556	1,053	3,215	2,487	2,529	949	227	798	20,393	
		R2R3比較	1,903	1,842	769	493	-1,072	-999	909	-91	270	72	-1,692	-1,648	756	
		令和4年度	1,915	1,842	2,358	3,012	1,562									
	中込会館	令和2年度	59	0	991	1,270	927	1,233	1,313	1,742	1,472	570	1,301	1,532	12,410	
		令和3年度	1,351	1,341	1,226	1,651	317	570	1,521	1,797	1,544	629	53	361	12,361	
		R2R3比較	1,292	1,341	235	381	-610	-663	208	55	72	59	-1,248	-1,171	-49	
		令和4年度	918	1,307	3,026	1,257	732									
	東会館	令和2年度													0	改築に伴い令和2年4月～令和3年11月まで貸館利用なし
		令和3年度										227	121	175	7	530
		R2R3比較	0	0	0	0	0	0	0	0	227	121	175	7	530	
		令和4年度	286	361	549	589	433									
	浅科会館	令和2年度	38	0	274	446	291	396	475	540	345	152	0	137	3,094	令和3年2月までは旧浅科会館の数値
		令和3年度	1,691	432	613	647	151	236	2,157	720	569	204	350	504	8,274	
		R2R3比較	1,653	432	339	201	-140	-160	1,682	180	224	52	350	367	5,180	
		令和4年度	434	588	965	2,297	1,255									
	合 計	令和2年度	325	18	2,695	3,612	2,846	3,681	4,094	4,860	4,076	1,599	3,220	4,115	35,141	
		令和3年度	5,173	3,633	4,038	4,687	1,024	1,859	6,893	5,004	4,869	1,903	805	1,670	41,558	
		R2R3比較	4,848	3,615	1,343	1,075	-1,822	-1,822	2,799	144	793	304	-2,415	-2,445	6,417	
		令和4年度	3,553	4,098	6,898	7,155	3,982									
	市民創鍊センター	令和2年度	359	65	1,816	3,378	1,630	2,207	3,429	3,835	2,524	660	2,514	3,323	25,740	
		令和3年度	2,895	2,621	3,379	3,525	1,034	1,214	4,703	4,059	3,230	776	595	1,003	29,034	
		R2R3比較	2,536	2,556	1,563	147	-596	-993	1,274	224	706	116	-1,919	-2,320	3,294	
		令和4年度	2,091	2,509	2,935	3,801	2,490									
	駒の里ふれあいセンター	令和2年度	90	8	300	729	397	495	503	605	430	126	425	681	4,789	
		令和3年度	1,224	681	882	943	240	266	640	762	657	911	79	22	7,307	
		R2R3比較	1,134	673	582	214	-157	-229	137	157	227	785	-346	-659	2,518	
		令和4年度	394	612	703	849	513									
	合 計	令和2年度	774	91	4,811	7,719	4,873	6,383	8,026	9,300	7,030	2,385	6,159	8,119	65,670	
		令和3年度	9,292	6,935	8,299	9,155	2,298	3,339	12,236	9,825	8,756	3,590	1,479	2,695	77,899	
		R2R3比較	8,518	6,844	3,488	1,436	-2,575	-3,044	4,210	525	1,726	1,205	-4,680	-5,424	12,229	
		令和4年度	6,038	7,219	10,536	11,805	6,985									
	野沢会館	令和2年度	813	0	4,848	4,430	3,733	4,908	5,561	6,530	4,922	2,143	4,551	6,489	48,928	
		令和3年度	7,146	3,591	4,089	4,275	2,090	2,756	6,868	6,798	4,163	1,680	665	1,313	45,434	
		R2R3比較	6,333	3,591	-759	-155	-1,643	-2,152	1,307	268	-759	-463	-3,886	-5,176	-3,494	
		令和4年度	2,833	3,439	3,693	5,453	5,005									
	あいとぴあ臼田	令和2年度	239	352	2,504	2,940	2,565	2,730	3,519	3,316	2,823	899	2,649	3,617	28,153	
		令和3年度	2,720	2,722	3,588	3,470	1,097	1,667	3,692	3,152	2,853	845	272	776	26,854	
		R2R3比較	2,481	2,370	1,084	530	-1,468	-1,063	173	-164	30	-54	-2,377	-2,841	-1,299	
		令和4年度	1,882	1,997	3,082	3,112	943									
	公民館関係施設 合計	令和2年度	1,826	443	12,163	15,089	11,171	14,021	17,106	19,146	14,775	5,427	13,359	18,225	142,751	
		令和3年度	19,158	13,248	15,976	16,900	5,485	7,762	22,796	19,775	15,772	6,115	2,416	4,784	150,187	
		R2R3比較	17,332	12,805	3,813	1,811	-5,686	-6,259	5,690	629	997	688	-10,943	-13,441	7,436	
		令和4年度	10,753	12,655	17,311	20,370	12,933									

令和4年度 公民館事業の状況

項目	実施時期及び場所	実施内容
学習機会の提供と学習グループの育成	乳幼児学級 5月～2月 中央・浅科・望月、浅間・東、中込・野沢・臼田 計3教室	親と子が学びふれあい交流する中で「わたしの子育て」について考える契機とする。 (75組が受講中)
	親子ふれあい学級 4月～3月 7地区館	制作活動や体験学習等、親子及び祖父母とのふれあいや、成人者との交流を通して協調性を育み、子どもの健全育成を図る。
	公民館体験学習 浅間(6/30) 野沢(6/29, 7/6) 中込(7/7) 東(6/28) 臼田(5/20, 7/8)	小学校3年生の社会科、中学生の総合的な学習の時間に合わせて、学習グループの皆さんと一緒に体験学習をして、相互の交流と理解を深める。 (中佐都小、野沢小、岸野小、泉小、中込小、東小、臼田中、田口小、青沼小、切原小、臼田小で合わせて大人202人、子ども537人の計739人が参加)
	夏休み子ども公民館 7月～9月 中央公民館及び7地区館	小学校の夏休みの前後となる7月から9月にかけて、ものづくりや自然体験など様々な講座を実施する。
	食育セミナー 9月～12月 中央公民館	生涯にわたって健康で暮らすため、食を大切にする心を育て、食に関する知識や健全な食生活を実践する力を養う。 今年度は昨年度に続き「おとの健康ダイエット講座」と題して実施中
	成人式 令和5年成人式 1月3日(月) 県立武道館	記念式典、意見発表、記念写真ほか 午前・午後に分散し、時間短縮で開催予定 ※今年度より生涯学習課生涯学習係が主管
	創鍊の森市民大学・大学院 5月～2月 中央公民館	心身共に健康で、より豊かに生きがいある生活を送るため、学習活動を通して楽しい仲間づくりと高齢者の生き方や役割を学ぶ。大学院は大学修了者を対象。 (受講者数は大学:122人大学院:13人)
	わがまち佐久・市民講座 12月10日(土) 佐久平交流センター	市民が自信を持って「佐久」を紹介でき、全国に誇れる特色あるまちづくりを考える契機とする。 「佐久の誇り 新海三社神社」と題し、信州大学名誉教授 笹本正治氏による講演を予定。 ※今年度より生涯学習課生涯学習係が主管
	市民ふれあい学級 4月～3月 7地区館	生活課題や地域課題、伝統文化の継承等を学び、実践しながら意識や教養を高め、人と人とのふれあいを深める。
	世代間交流学級 5月～7月 7地区館	異世代が様々な活動を通して交流することにより、相互理解や連帯感を深める。
	通信俳句講座 4月～3月 中央公民館	投稿による俳句学習の推進 (65人が登録)
	学習グループ活動 通年	公民館を使って学習を進めているグループの育成支援と連絡調整。 学習グループ協議会の開催。
	人権同和教育講座 通年	講話・身近にある様々な差別の問題についての理解を深める。 公民館報への人権啓発記事の掲載。

項目	実施時期及び場所	実施内容
地域公民館活動の充実を目指す地域づくり	第15次モデル地域館事業 4月～3月 7地区公民館	地域公民館活動について学習や文化活動等の活性化と住民交流を図り、その成果を研修会等で発表することにより、他館への波及を図る。 浅間地区：浅間地区公民館長会 野沢地区：大沢地区公民館 中込地区：前林公民館 東地区：駒込公民館 白田地区：入澤・赤谷公民館 浅科地区：塩名田公民館 望月地区：布施地区公民館
学習情報・資料の提供と学習相談	地域公民館活動の支援 通年	情報提供、活動状況の把握。
生活文化の振興と充実	地域公民館連絡協議会の運営、研修 ・県公民館大会 9月29日(木) 上田市 ・研修会 11月26日(土) 市民創鍊センター	・地域公民館の組織づくりと事業活動の活性化を支援。 ・地域公民館連絡協議会との連携のもとに、地域における指導者を育成。
地区公民館のつどい(文化祭)	11月 ○望月…駒の里ふれあいセンター 1月～3月 ○浅間…浅間会館 ○野沢…野沢会館 ○中込…中込会館ほか ○東…東会館 ○臼田…あいとぴあ ○浅科…浅科会館	地区館や地域公民館で学習しているグループの活動の成果を発表することにより文化活動の交流を図る。
生活改善運動	通年	「佐久地域二市二郡生活改善申合せ事項」の内容検討。 特に新盆見舞金の廃止運動の拡張。 公民館報、地域公民館を通じての周知活動。
館報の編集発行	4月～3月	全戸配布(広報「佐久」と合冊) 館報発行規程に基づき、編集委員8名により毎月委員会を開き、公民館の事業・地域公民館の活動状況・生涯学習・人権・おさそいカレンダー等学習資料・情報の提供。
図書活動	通年	蔵書数 浅間公民館 329冊 野沢公民館 877冊 中込公民館 90冊 東公民館 385冊 計 1,681冊
施設・教材備品の提供	通年	地域公民館、各種団体、グループ等への施設、備品の貸出。
生涯学習リーダーバンク	年間	市民の多様な生涯学習を支援するため、地域に在住する指導者及び専門分野の知識を有する者を登録し、その情報を市民に提供することで生涯学習の推進を図る。 登録件数 42分野 133件(令和4年3月時点) ※今年度より生涯学習課青少年係が主管
市民総合文化祭(第18回)	11月5日(土)～6日(日) 市民創鍊センター及び野沢会館	市民や地域公民館及び学習グループによる作品の展示公開による文化の向上と連帯づくり。 出品数は、書道126点、篆刻4点、刻字7点、絵画50点、写真58点、華道25点、フラワーデザイン11点、押し花27点、盆栽19点、水墨画29点、短歌39点、俳句69点、川柳27点、木彫40点、表装7点、工芸銅版30点、民芸36点、陶芸32点、仏像彫刻20点、絵手紙38点、切手3点 出品総点数697点(同時開催)菊花展43点
市民コーラスマつり(第44回)	9月4日(日) 佐久市コスモホール(中止)	市内コーラスグループによる発表と交流の場づくり。 ※感染警戒レベル6のため中止。ホール工事等の都合により延期できず
短詩型文学祭(第18回)	1月28日(土) 市民創鍊センター	詩・短歌・俳句・川柳の応募作品発表と各部門別座談会。 令和3年度出品者数 延べ974人 出品点数は、詩35点、短歌463点、俳句628点、川柳151点 計1,277点

子どもを対象にした公民館活動の状況

講座名等	公民館	定員	参加数		実施日	参加者の感想・意見	活動の様子及び課題や今後の方向	
			大人	子ども				
夏休み子ども公民館	創鍊の森 子ども公民館『風力発電機をつくろう』	中央	30	組	20	28	8/11	・風力発電の方法やしくみがわかつてうれしかった。家でも作ってみたい。 ・つくれた最初はまわりなかつたけど、いろいろ工夫して、折り方を工夫したらまわってうれしかったし、この体験をしてたのしかつたです
	創鍊の森 子ども公民館『粘土でカフェ風トーストをつくろう』	中央	12	組	9	12	8/11	・最初はむづかしそうだったけど、やってみたらのしくなりました。とってもかわいいです。 ・細かい作業がたくさんあって、大変だったけど完成してうれしかったです。また参加したいです。
	まゆ玉でかわいい動物をつくろう！ (午前・午後の2講座)	浅間	各5	組	4 6	5 7	7/23 (2回)	・耳を作るのが難しかったけど楽しかった。 ・わからない所を教えてもらひながら作ることができた。 ・今度は自分で全部やってみたい。
	おやこDEおやつをつくろう！ (午前・午後の2講座)	浅間	各8	組	8 8	9 11	7/29 (2回)	・楽しかった。(多数) ・レアチーズケーキを初めて作って、作り方がわかつてよかったです。 ・生クリームを混ぜたり、上にパインをのせたりおもしろかったです。 ・先生に教えてもらって作り方を見えた。
	おやこDEパンをつくろう！ (午前・午後の2講座)	浅間	各8	組	8 8	11 11	8/5 (2回)	・初めてパンを作ったけど楽しかった。(多数) ・家族と一緒にパンを作れて嬉しかった。 ・メロンパンの模様(線)が難しかったけど、動物のパンはかわいくできた。 ・パンは手間をかけて作られているのがわかつた。
	オリジナルハンコを作ろう！ (午前・午後の2講座)	浅間	各5	組	4 5	6 7	8/7 (2回)	・ハンコを押したり作るのが楽しかった。(多数) ・最初は彫るのが難しかったけど最後までできてよかったです。 ・好きな絵で自由にハンコが作れることがわかつた。
	楽しい陶芸教室	野沢	32	名	14 14	21 21	7/17 7/31	・ねん土をカットしたりろくろを回して線を付けるのが楽しかったです。色付けもちゃんとできて、先生方の指導もやさしく楽しかったです。 ・いろいろなさらを作れて楽しかった。 ・とうげいをはじめてやったのでたのしかつたです。
	親子でおいしいパンづくり	野沢	4	組	4	5	7/27	・最初はドキドキしたけど優しく教えてもらえてうれしかったです。楽しくパン作りができました。また今度パンを作つみたいです。 ・家で作ったパンよりふわふわしていてびっくりした。ふくらませるといっぱいふくらんですごかったです。
	はじめてさんの手芸教室	野沢	14	名	—	—	中止 ※8/5 開催予定	講師と相談の上、講座中止
	高峰山親子登山教室	野沢	5	組	6	5	8/20	・急な段差があつたのしかつた。 ・お弁当がおいしく感じられた。 ・またみんなとやまとぼりたい。 ・山や森の中の虫や木の子があつてすごくおもしろかったです。 ・初めて山にのぼつたけど植物のことや自然のことなどたくさん知れて、楽しかったし、うれしかつたです。

講座名等	公民館	定員	参加数		実施日	参加者の感想・意見	活動の様子及び課題や今後の方向	
			大人	子ども				
夏休み子ども公民館	親子防災教室	野沢	8	組	2	3	9/3	・液体窒素の実験がおもしろかった。 ・防災のことを知れてよかったです。 ・火おこし体験をしたことがなかったので上手にできつたです。 ・火おこし体験が楽しかつた。
	川で宝石を探そう！	中込	10	組	10	13	7/28	・宝石を一生懸命探して、たくさん汗をかい、その結果たくさん拾えて、またやりたいくらいおもしろかったです。 ・どれが宝石なのか分からなかつたがおもしろかったです。 ・水晶やガオネットが入つた石などを見つけられてよかったです。家に帰つていっぽいみがきたい。
	おやこパン教室	中込	6	組	6	7	8/2	・今度、家でパンをつくるときに美味しい作れそう。 ・パンは結構作るのが大変なんだなと思いました。 ・知らないお友達とやって、楽しかつた。 ・生地のこね方などが難しかつたけど、楽しめました。
	木の実で工作教室	中込	8	組	—	—	中止 ※8/3 開催予定	講師の都合により講座中止
	さがしてみよう！海の化石	中込	10	組	9	12	8/9	・貴重な体験ができるよかったです。 ・疲れたけど、貝の化石が見つかつてうれしかつた。 ・本物の化石がたくさんあって驚いたし、楽しかつた。 ・初めて化石発掘しました。意外と石が固く強くたたくと化石が弱いので気を付けてできてよかったです。
	わくわく親子恐竜教室	東	6	組	6	8	7/16 8/6	・今日は、ふだんできない体験ができました。上流の方は、貝の化石が、たくさんあり、とても楽しかつたです。 ・かけきをわるのがたのしかつた。 ・化石がいっぱいみつけられて楽しかつた。
	わくわく親子陶芸教室	東	10	組	10	13	7/30 8/12	・初めてとうげいをして、とうげいってすごく楽しいなと思いました。 ・ちょっとむづかしかつたけど、たのしかつた。 ・なかなかできないことをやらせてもらひ、おもしろかったです。
	作って遊ぼう！ 「ぐるぐる？ ゆらゆら？」	東	10	組	6	11	8/3	・おもしろかったしたのしかつたです。 ・おもしろかったよ ありがとう。 ・チラシを見て「ぐるぐる、ゆらゆらって何？」って思つたけどみてよかつたって思ったよ。 ・またやりたい ありがとう
	親子ふれあい陶芸教室	白田	12	名	4 4	8 8	7/2 7/23	講師のみなさんがやさしく教えてくれて、楽しかつた。 焼きあがりが、どんなになるかたのしみです。 陶芸は、とても楽しい。
	飯ごう炊さんと星の教室	白田	10	組	12	10	7/30	ごはんがおいしくて、よかったです。つくるのが、おもしろかったです。 星のはなしがわかりやすく、おもしろかったです。星のことがわかつた。
	親子ステンドグラス教室 (午前・午後の2講座)	白田	12	名	6 6	8 8	8/3 (2回)	普段できない体験ができるよかったです。楽しくきれいにできた。 友だちができたよかったです。また、ステンドグラス教室に参加したい。

	講座名等	公民館	定員	参加数		実施日	参加者の感想・意見	活動の様子及び課題や今後の方向
				大人	子ども			
夏休み子ども公民館	親子で楽しむ科学マジック教室	白田	15	組	19	30	8/11	ロケットを作るのや、飛ばすのが楽しかった。プラ板でキーホルダーを作るのが楽しかった。いろいろなものがつくれて、楽しかった。講師の空気砲にスマートを入れるとすごかった。今後は、2種類にしたい。
	みんなで楽しむ陶芸教室(全2回) (午前・午後の2講座)	浅科	各16	名	8 9 10 8 7	6 10 7 9	6/26 (2回) 7/24 (2回)	先生がやさしく教えて方がわかりやすかった。色をつける時に、色を重ねると色がくなることがおもしろかったです。わかりやすく教えてくれたので上手くできました。どんな感じに焼きあがるのが楽しみです。面白い体験ができました。
	身近な自然 ～水源地に行ってみよう～	浅科	14	名	7	6	7/27	水源地の水を持ち帰ったことがよかったです。バスでの移動が楽しかった。
	身近な防災とラジオ工作教室 (午前・午後の2講座)	浅科	各12	名	5 4	6 5	8/6 (2回)	はんだを使っての工作であったが、苦労しながらできて、ラジオも受信できて評判も良かった。 また、災害に対する知識も少しほとんど理解できなかったので今後は、開催日を考慮したい。
	もちづき子ども祭り	望月	50	名	27	31	7/31	全てのイベント(ボッチャ・折り紙・体験型音楽会)で「楽しかった」との回答多数(児童へのアンケート結果) 充実したイベント内容であった。子どもたちも飽きることなく親子で楽しめた。(保護者へのアンケート)

	講座名等	公民館	定員	参加数		実施日	参加者の感想・意見	活動の様子及び課題や今後の方向
				大人	子ども			
公民館活動体験	白田中学校 <u>4年度…白田中学校3年</u>	白田	—	15	105	5/20	・楽しい体験ができ、クラスのみんなと久しぶりに笑い合うことができた。 ・俳句は奥が深いと思いました。みんなの作品を見てこんなアイデアがあったか、といろんな学びがありました。 ・今年度は、新型コロナウイルス感染を考慮し、クラス単位で中学校で実施。普段の学校生活ではできない体験ができ、学習グループの皆さんも良い刺激を受けたようでした。今後も継続する予定。	・3つの学習クラブ(空手・俳句・リズムダンス)の皆さんに参加していただき開催。 ・公民館体験を中学生にも体験できるように、平成19年度から実施している。
	白田地区4小学校合同 <u>4年度…田口・青沼・切原</u> <u>白田小学校3年</u>	白田	—	15	107	7/8	・最初は、難しかったが、よく教えてもらえて最後は楽しかった。 ・俳句で、「その時の感じが目に浮かぶ良い句」だとほめられてうれしかった。 ・また、公民館に来たい。 ・子ども達の楽しそうな姿や学習グループの皆さんと子ども達と交流する姿から、世代を超えてふれあう良い機会になった。いつも学校の授業と違った学習でしたが、すぐに慣れ、講師の皆さんと和気あいあいとふれあいがもたられた。 ・また、来年度から4小学校が統合され、同じ学校で学びます。この体験学習が子ども達の友達作りのきっかけになったと思われる。今後も継続する予定。	・子ども達の楽しそうな姿や学習グループの皆さんと子ども達と交流する姿から、世代を超えてふれあう良い機会になった。いつも学校の授業と違った学習でしたが、すぐに慣れ、講師の皆さんと和気あいあいとふれあいがもたられた。 ・また、来年度から4小学校が統合され、同じ学校で学びます。この体験学習が子ども達の友達作りのきっかけになったと思われる。今後も継続する予定。

今後の予定・・・短詩型文学交流会(10/6野沢中1年生・中央)、ふるさと写生大会(11月・白田)、子ども小満太鼓教室(12月～・白田)、親子ふれあい劇場「おじいちゃんとたぬき」(12/18・望月)、おやこDE料理(12月頃・浅科)、書初め教室(1月頃・浅間、中込、東)、囲碁・将棋体験講座(1月頃・浅科)、きのこ栽培教室(3月頃・東)

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、小中学生を招いての公民館活動体験を含め、一部中止とした講座もあります。
※ 参加者の感想・意見は読みやすさのため、本人記述を一部漢字に直しています。

公民館活動体験	中佐都小学校 <u>4年度…中佐都小学校4年</u>	浅間	—	20	70	6/30	・太極拳:型が覚えられてよかった。難しかったけど楽しかった。 ・囲碁:頭を使って難しかったけど覚えられてよかった。 ・俳句:夏の季語を使って、たくさん俳句を作ってよかった。 ・バステル画:初めてだったけど、うまくできてよかった。楽しくできた。	・4つの学習グループの皆さんに参加いただき、体験学習を行った。 各グループの方も子どもたちと一緒に楽しんでいる様子が見られた。 ・浅間地区5つの小学校で順次開催している。小学校によって規模の違いが大きいので、大規模校時の実施方法等について検討をする必要がある。
公民館活動体験	野沢小学校 <u>4年度…野沢小学校3年</u>	野沢	—	48	84	7/6	・とても楽しかった。 ・また一緒に出来たらうれしい。 ・また教えてください。	・6つの学習グループの皆さんに参加していただき、体験学習をおこなった。グループの方と児童が和気あいあいに行っており、教える側も教えられる側も楽しんでいたように見受けられた。 ・会館改築のため、昨年に引き続き学校に出向いて行ったが、新会館移転後は学校に出向くか、会館に来てもらうか再考を要す。また、講座(学習グループ)の選定や講座数について、再検討する必要がある。
	岸野・泉小学校 <u>4年度…岸野・泉小学校3年</u>	野沢	—	44	72	6/29	・とても楽しかった。 ・家でもやってみたい。 ・またやりたい。	・7つの学習グループの皆さんに参加していただき、体験学習をおこなった。グループの方と児童が和気あいあいに行っており、教える側も教えられる側も楽しんでいたように見受けられた。岸野小学校では、参画した児童が後日、授業参観の時に成果を保護者に披露した。 ・来年度以降の手法については再考を要す。(上段と同じ)
公民館活動体験	中込小学校 <u>4年度…中込小3年</u>	中込	—	29	56	7/7	・とても楽しかった。 ・もっとやりたかった。 ・また来て、やってみたい。	4つの講座に分かれ、学習グループの皆さんから指導を受け、体験学習をおこなった。作品が完成しない子も何人かいた。2時間の講座で、指導を受けながら集中して取り組んでいた。世代間交流及び公民館の活動等広く知ってもらうためにも体験学習は継続していきたい。
	東小学校 <u>4年度…東小学校4年</u>	東	—	31	43	6/28	・書道:始めは難しかったけれど、分りやすく教えてもらい、きれいに書けた。 ・墨絵:上手になってうれしい。またやりたい ・囲碁:5つのルールを教えてもらい。囲碁がとても楽しくなった。 ・リフォーム:優しく教えてもらい完成し、いい経験になった。 ・また、公民館にきたいです。	・4つの講座に分かれ学習グループの皆さんから指導を受け、体験学習をおこなった。1時間半の講座で、指導を受けながら集中して取り組んでいた。最後に合唱をした。 ・世代間交流及び公民館の活動等広く知ってもらうためにも体験学習は継続していきたい。

令和4年度 新規事業の実施状況

この表は、令和4年度に新規に計画した事業(令和3年10月1日開催の公民館運営審議会資料)、及びその後に計画された新規事業の実施状況です。

地区館	学級・講座等の名称	対象者	開催時期	開催場所	実施内容(案)	実施状況	来年度
浅間	親子あそび&リトミック	若い世代 ・親子	5月～11月	浅間会館	「リトミック」とは、親子のスキニシップをとりながら音楽を通して体を動かすことにより、音楽的な感性や身体能力、創造性を育むもので、令和3年度は全2回(10月・12月)で試験的に開催する。 0歳からの教室もあり、若い世代を対象として全2回程度を開催する。	1回目を10/25、2回目を12/6に実施予定。 1回目の募集は、館報9月号おさそいカレンダーへ掲載。申し込み開始は9/27～	実施予定
浅間	スマートフォン教室	市民	6月～12月	浅間会館	スマートフォンの比率は年々増加しており、シニア層の利用率も拡大している状況であることから、シニア層を中心にスマートフォンの基本的な使い方から全2回程度で開催する。 今年度は試験的に初心者を対象とした「スマートフォン使い方教室」を11月に開催する	全2回とし、11/14と12/15に実施予定。 募集は、館報10月号おさそいカレンダー掲載予定。 佐久大学の学生にボランティア補助講師として参加いただく予定。	実施予定
野沢	親子でスポーツ ボッチャ体験教室	親子	8月	野沢会館	東京パラリンピックでも注目されたスポーツである「ボッチャ」を親子で体験し楽しむ。 また、野沢公民館学習グループである「相久(IQ)ボッチャ」の会員増のためPRも兼ねる。	7月23日(土)、学習グループ「相久(IQ)ボッチャ」の皆さんを講師に、親子に限らず一般参加も可能として開催。参加者11名。後日、参加者の一部がグループ活動に参加している。	実施予定
野沢	学生と地域を学ぶ	市民・佐久大学の学生	9月	野沢会館	佐久大学の学生と一緒に物づくりや佐久の歴史等について学び、交流を図る。	3月23日(水)に開かれた佐久大学との打合せの中で、日程や時期が限られるとして、前年度と同じく学習グループ活動への体験学習受入れのみに変更とした。	実施なし
野沢	親子で登ろう登山教室	親子(子どもは小学生高学年)	7月～8月	高峰山	日常生活の中では、見ることができない景色や空気を目や肌で感じ、また登り切った時の達成感を味わう。	8月20日(土)、倉澤祥子先生を講師に、高峰山登山(山歩き)を開催。親子5組11名が参加。普段では見られない景色や高山植物などを見て学ぶことができた。	実施予定
野沢	テーマ別 大人の陶芸教室	市民	10月	野沢会館創作室	ひとつのテーマに沿って作品を作り、陶芸の楽しさを知ってもらう。(作品作りと色塗り含め2回開催) また、野沢公民館学習グループである「陶遊会」の会員増のためPRも兼ねる。	年度内の開催が可能か検討中	検討中
中込	バーチャル小海線の旅	大人	下半期	中込会館	R2年度より行っている「高原鉄道小海線の魅力」をより深めるものとして、JR小海線営業所のご協力いただき、小海線の先頭車両に取り付けたカメラの映像をもとに、FMさくだいら「Mo鉄ちゃんの鉄分補給出発進行」パーソナリティの茂木先生に解説をしていただきながら、バーチャルで小海線に乗って旅をする講座。	小海線の先頭車両に取り付けたカメラの映像をもとに、佐久平駅から終点の小淵沢駅までの駅舎の様子や、車窓風景などをプロジェクターで写し、茂木先生に解説をしていただきながら、バーチャルで、小海線に乗って旅をし、新たに魅力を再発見できる講座であった。	実施予定
東	佐久の良さ再発見！(全3回)	市民	9月、10月	東会館	佐久地方について、歴史や文化、慣習を学び、地域を誇りに思い、愛着をもつもらうことを目的とする。 ①「弥生時代、佐久地方は文化の発信地だった」 ②「地区のお祭り(春祭り、秋祭り)について」～「水」「火」「風」を中心命を守り、文化、慣習は引き継がれていく～ ③「戦国時代について」～戦国時代、佐久地方は力をもっていた～	講師の都合で、開催せず。	実施予定
東	恐竜の生きた時代を知ろう(全2回)	小学生及び成人	7月、8月	東会館、兜岩山	子どもたちや一般市民の方たちに佐久地方には古代から素晴らしい遺産があること、また豊かな自然を体感し、地域に愛着を持ち、古代に生きた生物に思いをはせる。 1回目:座学「恐竜について」 2回目:野外「兜岩山に行き、珍しい化石を探す」	1回目の座学では、群馬自然史博物館の高桑先生を講師にお迎えして、「恐竜についての概要から、最新の恐竜研究まで」レプリカや模型を触らせてもらひながら学んだ。2回目は内山の館ヶ沢で化石を採取した。海の貝の化石を全員が採取し、古代に生きた生き物に思いをはせた。コロナ禍であつたため参加者を抑えての実施だった。	検討中
東	初めての茶道教室	成人	5月、8月、11月、1月	東会館	春夏秋冬、季節ごとの茶会を体験し、茶道という日本文化に触れ、人を大切に思う心を茶道を通して知ることができる。また、茶道の初心者を対象にし、簡単なお点前の仕方を学び、日常生活に取り入れ、生活を楽しむ。	春の茶道教室では、コロナ禍の為、お点前を見せてもらつたり、春の茶室のしつらえを学んだ。夏は各自が教えてもらいながら、和菓子を食べ抹茶を点てて頂いた。お互いを思いやりながら、お茶を楽しみ、静けさの中で音や香りも楽しんだ。	実施予定
臼田	介護講座	市民	9月	あいとぴあ臼田	高齢化社会の中、高齢者や家族が安心して生活することを学ぶ。 今回は、地域包括支援センターについて。	新型コロナウイルス感染警報6が発出されたため延期。 日程は不明。(レベル5に下がらなければ実施できない)	検討中
臼田	炭酸まんじゅう講座	市民	9月	コスモホール	炭酸まんじゅうの作り方を学び、手軽にできるように、作り方を習得する。	9月8日実施。 お彼岸に向けて、炭酸まんじゅう作りを実施。受講生には、新型コロナウイルス感染対応のため、試食はなしで、持ち帰っていただいたが、好評であった。	実施予定
臼田	キッズヘアアレンジ教室	親子	8月、9月	あいとぴあ臼田	親が子の髪をアレンジすることにより、親子のふれあいを目的とする。	8月20日(土)・9月10日(土)実施。 前髪のカットの方法・ヘアアイロンを使ったアレンジ方法の講習。自宅で、ヘアアレンジをし慣れてもらうため、2回目開催までの期間をおいて開催しました。親子がよりふれあうようになり、好評だった。	検討中
臼田	親子で楽しむ科学マジック教室	親子	8月	あいとぴあ臼田	ゲーム感覚で科学を楽しみ、また、親子で一緒にものづくりをすることで、創作する楽しさを知る。	8月11日(木・祝)に実施。親子15組(30名)程度の予定でしたが、申込多数のため、19組(49参加内子ども30人)に増やしました。コロナ対策として、作業する机を家族単位で実施。親子で楽しむことができ、好評だった。(ペットボトルの空気砲、傘袋を使った飛行機、プラ板作成)	実施予定

地区館	学級・講座等の名称	対象者	開催時期	開催場所	実施内容(案)	実施状況	来年度
浅科	姿勢改善ヨガ教室(全3回)	市民	5~6月	浅科会館	道具等を使って筋肉をほぐし、肩こりなどの症状緩和を促す。また、講座で学習した体操を日常に取り入れてもらい、健康増進につなげる。	①5/16②5/30③6/13の全3回で実施。申し込み順で受付けたが、定員以上の申し込みがあった。また、講座実施後のアンケートや受講者の反応も良く、年度内再計画を予定。	実施予定
浅科	姿勢改善ヨガ教室Ⅱ(全3回)	市民	9~10月	浅科会館	道具等を使って筋肉をほぐし、肩こりなどの症状緩和を促す。また、講座で学習した体操を日常に取り入れてもらい、健康増進につなげる。	5~6月の同講座に定員以上の申し込みがあったこと、また、受講者の反応も良かったことから、年度内に、初参加の方を優先として再計画(①9/8②9/22③10/13)するもの。1回目から定員を4名増やしたが、定員以上の申し込みが既にある。	実施予定
浅科	防災とラジオ工作	親子(子どもは小学生高学年)	8月	浅科会館	初めの30分は佐久市危機管理課職員から防災に関する講義をしていただき、防災について学習する。続いて、日本無線㈱の指導を受けながら、防災時に役立つラジオを作製する。	8月6日午前午後で2回開催。申し込みは各回12名定員に対して7名、8名(付添除く)と少なかったが、参加者からは好評をいただいた。	実施予定
浅科	初心者茶道教室(全3回)	市民	10月	浅科会館	初心者向けに、茶道の作法や手順などを学習することで、知識や趣味を増やす。	①10/13②10/20③10/27の全3回で計画中。	実施後検討

令和5年度 新規事業の計画概要

この表は、上の表で今後も継続して実施予定とした事業のほか、令和5年度において新規に計画している事業の概要です。

地区館	学級・講座等の名称	対象者	開催時期	開催場所	実施内容(案)
中央ほか	スマートフォンの使い方教室	市民一般	未定	市民会館等	高齢者などスマートフォンの使い方に不慣れな市民を対象に行い、情報格差の改善を図る。
野沢	おとの自然散策教室	大人	9月~10月	飯盛山又は湯ノ丸山	自然の野山を歩き、心の癒を感じる。
白田	水彩画教室	市民	6月~8月	あいとぴあ白田	初心者向けの講座。月2回、計6回開催予定。平日の夜間の開催とし、若い世代も参加しやすくする。
望月	終活講座 ～人生の終い方を学び考える～	市民一般	未定	駒の里ふれあいセンター	誰もが「人生の終い方」について、ぼんやりとした不安を持っていると思われる。そこで本講座では、「相続と健康寿命(終末期医療)」について学習する。(全2回講座)
望月	癒しのミニ盆栽(苔玉)講座	市民一般	未定	駒の里ふれあいセンター	素人でも比較的簡単に作れ、人気のある「ミニ盆栽(苔玉)講座」を開講する。(全2回講座)